

福音メッセージ 「宗教」の虚しさ

マルコの福音書 7章 1節～23節 【新改訳改訂第3版】

- 1 さて、パリサイ人たちと幾人かの律法学者がエルサレムから来ていて、イエスの回りに集まった。
- 2 イエスの弟子のうちに、汚れた手で、すなわち洗わない手でパンを食べている者があるのを見て、
- 3 ——パリサイ人をはじめユダヤ人はみな、昔の人たちの言い伝えを堅く守って、手をよく洗わないでは食事をせず、
- 4 また、市場から帰ったときには、からだをきよめてからでないと食事をしない。まだこのほかにも、杯、水差し、銅器を洗うことなど、堅く守るように伝えられた、しきたりがたくさんある——
- 5 パリサイ人と律法学者たちは、イエスに尋ねた。「なぜ、あなたの弟子たちは、昔の人たちの言い伝えに従って歩まないで、汚れた手でパンを食べるのですか。」
- 6 イエスは彼らに言われた。「イザヤはあなたがた偽善者について預言をして、こう書いているが、まさにそのとおりです。『この民は、口先ではわたしを敬うが、その心は、わたしから遠く離れている。』
- 7 彼らが、わたしを拝んでも、むだなことである。人間の教えを、教えとして教えるだけだから。』
- 8 あなたがたは、神の戒めを捨てて、人間の言い伝えを堅く守っている。」
- 9 また言われた。「あなたがたは、自分たちの言い伝えを守るために、よくも神の戒めをないがしろにしたものです。」
- 10 モーセは、『あなたの父と母を敬え』、また『父や母をののしる者は死刑に処せられる』と言っています。
- 11 それなのに、あなたがたは、もし人が父や母に向かって、私からあなたのために上げられる物はコルバン(すなわち、ささげ物)になりました、と言えば、
- 12 その人には、父や母のために、もはや何もさせないようにしています。
- 13 こうしてあなたがたは、自分たちが受け継いだ言い伝えによって、神のことばを空文にしています。そして、これと同じようなことを、たくさんしているのです。」
- 14 イエスは再び群衆を呼び寄せて言われた。「みな、わたしの言うことを聞いて、悟るようになりなさい。
- 15 外側から人に入って、人を汚すことのできる物は何もありません。人から出て来るものが、人を汚すものなのです。」
- 17 イエスが群衆を離れて、家に入られると、弟子たちは、このたとえについて尋ねた。
- 18 イエスは言われた。「あなたがたまで、そんなにわからないのですか。外側から人に入って来る物は人を汚すことができない、ということがわからないのですか。」
- 19 そのような物は、人の心には、入らないで、腹に入り、そして、かわやに出されてしまうのです。」
- 20 イエスは、このように、すべての食物をきよいとされた。
- 21 また言われた。「人から出るもの、これが、人を汚すのです。」
- 22 内側から、すなわち、人の心から出て来るものは、悪い考え、不品行、盗み、殺人、
- 23 姦淫、貪欲、よこしま、欺き、好色、ねたみ、そしり、高ぶり、愚かさであり、
- 23 これらの悪はみな、内側から出て、人を汚すのです。」

「宗教」の虚しさ

マルコの福音書 7:1～23

1. 日本の宗教

- (1) 日本の宗教人口:2億人!
- (2) 現代に生きる宗教:地鎮祭、ホロスコープ、占い、初詣、お盆
- (3) 知らずに拝む

「なにごとの おはしますかは 知らねども
かたじけなさに 涙こぼるる」 (西行法師歌集)
「分け上るふもとの道は多けれど、 同じ高嶺の月を見るかな」

(4) 恐れとご利益

狼、雷も (大野晋 『日本語をさかのぼる』)
「世の常ならずすぐれた徳ありて、かしこき物を神とは云なり」
本居宣長『古事記伝(巻三)』
伊勢神宮と隣り合って遊郭!
一年中注連縄(しめなわ) [伊勢名物]



建物を建てることを神様に報告し、工事の安全を祈る

伊勢神宮の静寂



写真提供: 神宮町庁

「日本民族は、天地を貫く何か大きな力によって、愛され救われる事を知らずに生きて来た…古来、日本の神は、鬼、狐、狼、妖怪であった。日本人は、『神』を呼び求めるよりも、これらの恐るべき者に物を献げ、機嫌を静めて生きて来た」(国語学者大野晋博士)



2. イエスの時代のユダヤ教

- (1) 礼拝対象は天地創造の神 (「ゴッド」 福沢諭吉)
「天道様を畏れ、これを敬い、その心に従うべし。ただし、ここに言う天道様とは、日輪のことにあらず。西洋の言葉にてゴッドと言ひ、日本の言葉に翻訳すれば造物者というものなり。」(「日々の教え」)
- (2) 聖書そのもの(トーラー)ではなく、先祖たちの言い伝え(ミシュナー)を墨守
亡国の経験(アッシリア、バビロン)から
「洗い」に関する35ページの禁則
「安息日」の厳格な規定など

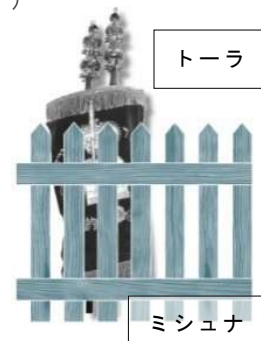
(3) ユダヤ教

- 言い伝えられた規則をどれだけよく守るかにすり替え
守らない者には: 怒りと制裁が待っている 学校でも。 霞が関でも。
「偽善者」 ὑποκριτής (舞台俳優のこと)

● 宗教のための宗教

「あなたの父と(あなたの)母を敬え」 ⇒ 「コルバン[神への捧げもの]になったから上げられない」
食物規定(コーシャール): 豚肉を食べないことが敬虔のあかし? (マカバイ戦争 前2世紀)

トーラー



ミシュナ



3. 本来の宗教とは Religion = Re(再び) + ligio(結びつける)

- 神から離れたしまった人間 (「エデンの東」 スタインベック)
- 神との関係が切れてしまった人間から出てくるもの=罪 (Sin)
「自分さえよければ」
- 壊れた関係は、規則を守っても、「きよい」食べ物を食べても回復しない
- 罪の汚れを水で清めることはできない
- 神の側から手が差し伸べられた (神が人として来られた=イエス・キリスト) Atonement(贖い)
- キリストが私たちと神(ゴッド)を結び合わせてくださった(くださる) [天地を貫く大きな力]

私もあの犯人と
同じことを考えたことがある
それがどんなに悪いことか
今、あの人がおしえてくれた
(星野富弘)